



# がん診療病院連携研修 研修病院募集説明会

令和3年1月12日、14日

日本臨床腫瘍薬学会

**\* 実施要綱・コアカリキュラム  
をお手元にご用意の上、ご参加ください**

# 研修の目的



本研修は、がんの専門的な知識や技能に加え、臨床経験を修得し、**病院と緊密に連携してがん薬物療法に対応できる薬局薬剤師を養成することにより**、外来がん治療を安全・有効に施行するとともに、**地域がん医療において、患者とその家族をトータルサポートできることを目的とする**



# 研修事業の概要

研修者：JASPO正会員の薬局勤務薬剤師

研修施設：JASPO認定研修病院（募集要項および研修要綱参照）

研修期間：第1期：令和3年5月1日～令和4年4月30日（終了）

第2期：令和3年11月1日～令和4年10月30日（終了）

研修形態：①連続研修：期間内の特定の期間に連続して30日

②通年研修：期間内に計30日（30単位）終了する

研修生の研修費用：137,500円（税込）

研修施設への支払い（1名）：研修費用11万円（税込）



# 連続研修

病院の休日を除いた30日間連続研修

## ①—A 研修期間指定型

研修病院が指定した期間で研修者を募集する。

例) 期1: 令和3年6月7日(月)～7月16日(金)(受入2名)

期2: 令和3年9月27日(月)～11月8日(月)(受入1名)

期3: 令和4年2月7日(月)～3月29日(火)(受入1名)

研修開始日は、期間内(令和3年5月1日～令和4年4月30日)で研修病院が受入人数とともに設定する。研修者募集時に期1～3の期間とともに公表し、研修者を募集する。原則、研修者決定後の日程変更は不可。

## 1. 連続研修(30日間連続研修)

連続研修は、研修病院の休日を除く、30日間連続で研修を行うことを示します。研修病院が実施日を指定する「研修期間指定型」と、研修決定後に最終的な研修時期を研修者と協議の上決定する「開始日協議型」に分かれます。開始日協議型では、研修者が選択しやすいように、研修不可時期などをなるべく詳細に記載をお願いします。

★①または②のいずれかを選択してください

### ①研修期間指定型

研修施設で予め指定した期間の研修です。研修者は、指定された期間で研修が可能かを判断の上、応募します。なお、複数期間実施予定の場合は、各期で受入れ可能な人数を記載してください。**最終の研修修了日は、2022年4月末日です。**

期	実施期間(全30日になるよう期間設定)		受入人数
	開始日	終了日	
1			
2			
3			
4			



# 連続研修

病院の休日を除いた30日間連続研修

## ①一B 研修開始日協議型

研修病院が募集時に研修可能期間や研修不可期間を提示し、研修者決定後に研修日を病院と研修者で決定する。

例1) 研修は、令和3年9月～令和4年2月の期間で実施

受入人数: 年間で4名まで

例2) 研修は、令和3年8月および12月を除く、令和3年6月～令和4年3月で実施

受入人数: 年間で3名まで

研修開始日は、期間内(令和3年5月1日～令和4年4月30日)で研修者決定後に研修施設と研修者で決定します。研修日が調整できなかった場合は、研修中止となります。



## ②研修開始日協議型(研修受入決定後に研修者の研修日協議)

研修施設と研修者で受入決定後に研修期間を設定する方法です。研修者が選択しやすいように、なるべく詳細に受入可能またじゃ受入不可時期を記載してください。**最終の研修修了日は、2022年4月末日です。**

受入期間 / 受不可期間など	全受入人数

例文)・研修は、9月～12月の期間で実施します。

・研修は、7,8,12月を**除く**期間で実施します。



# 通年研修

令和3年5月1日～令和4年4月30日の期間で30単位取得する。

1単位：研修病院の業務時間1日　0.5単位：研修病院の業務時間半日

**\* 半日に満たない研修は単位にカウントできない**

**\* 原則、週0.5単位以上の研修が望ましい（病院の長期休暇日を除く）**

## ＜応募時の記載方法＞

例1) 研修は、令和3年6月～令和4年2月の期間で毎週月曜日に実施。

ただし、8月、12月は行いません。

例2) 研修は、令和3年7月～12月の期間で、研修者と決めた曜日（週1回）で実施。



## 2. 通年研修(2021年5月～2022年4月末の期間で30単位)

研修病院と研修希望者で研修日を決めて、研修を行います。1単位は研修病院の1日とし、0.5単位は半日とします。半日未満の研修は、研修単位にカウントしません。また、原則、研修開始後は、週0.5単位以上の研修を推奨しています。なお、研修は、2022年4月末までに修了する必要があります。研修開始時期は、研修病院と薬局で協議の上決定しますので、受入不可期間や研修スケジュールの決定事項がありましたら、なるべく詳細にご記載ください

受入期間 / 受不可期間など	全受入人数

- 例文)・研修は、7月以降、毎週月曜日を予定しています。  
・研修は、6月開始(7,8,12月を除く)で週1日(1単位)で予定します。



# 研修施設要件（必須項目）

- ① **研修責任薬剤師は、研修病院の薬剤部門長**（部門長が薬剤師以外の職種の場合は、部門長から委託された薬剤師）とすること。研修責任薬剤師は研修指導薬剤師に指示し、自施設の研修カリキュラムおよび研修計画の作成、病院内の関係部門との調整、研修者の総括評価などを行うこと。
- ② 薬剤部門において、**がん薬物療法に対して薬剤師が行うべき実地研修項目の指導**ができること。
- ③ 当該病院に、**日本臨床腫瘍薬学会認定外来がん治療認定薬剤師、または日本病院薬剤師会認定がん薬物療法認定薬剤師もしくは日本医療薬学会認定がん指導薬剤師・がん専門薬剤師が2名以上在籍していること**。なお、1名は日本臨床腫瘍薬学会外来がん治療認定薬剤師であることが望ましい。**ただし、当面の間、認定資格者が1名の病院であっても、日本臨床腫瘍薬学会が十分な研修体制が整っていると判断した場合は、暫定研修病院として認定することができる。**



# 研修施設要件（必須項目）

- ④ 外来化学療法室等において、薬剤師が患者等を指導できること。
- ⑤ 緩和ケアチームにおいて、薬剤師がその業務に従事していること。
- ⑥ がん患者の症例カンファレンスに薬剤師が参加していること。
- ⑦ 院外処方箋を発行しており、処方箋応需薬局などと連携し、患者の治療に当たっていること。
- ⑧ 臨床腫瘍学およびがん薬物治療学を指導するのに十分な資質を兼ね備えた専門医が勤務していること。なお、放射線治療医、臨床病理医、精神腫瘍医、緩和ケア専門医などの専門医が勤務していることが望ましい。



# 研修施設要件（必須項目：届け出）

## （イ）設備等の要件

- ① 本研修のカリキュラムを遂行することのできる入院病床、外来化学療法室等が整備されていること。
- ② 次の診療報酬の施設基準を全て届け出て、算定していること。
  - ・外来化学療法加算1（2を算定している病院は研修病院になれません）
  - ・薬剤管理指導料
  - ・無菌製剤処理料1



# 研修施設要件（任意項目：届け出）

- ・がん診療連携拠点病院加算
- ・がん患者指導管理料ハ
- ・病棟薬剤業務実施加算
- ・連携充実加算
- ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ・外来緩和ケア管理料
- ・緩和ケア病棟入院料又は緩和ケア診療加算

# 申請書の記入方法



日本臨床腫瘍薬学会がん診療病院連携研修病院申請（モデル事業）・様式3

## 日本臨床腫瘍薬学会がん診療病院連携研修病院特記事項

研修生募集に際して、研修施設として特記事項がある場合は記載してください。

原則、記載された内容をそのままHPに掲載します

### 記載事例)

- ・研修開始前に健康診断書および各種感染症の抗体検査結果の提出が必要です。
- ・研修は、同一県内の薬局に勤務する薬剤師を優先します。
- ・希望者には、宿泊施設を1泊〇〇円で用意できます。
- ・がんゲノム医療連携病院に指定されており、エキスパートパネルに参加可能です。

### 留意事項)

- ・研修生受入に際し、地域性以外に特定の薬局(薬剤師会加入有無など)のみを受入れる内容を特記事項に記載することはできません。
- ・COVID19の関係で県境を越えて研修生を受入れできない場合は、その旨を記載してください。
- ・研修生受入れ決定後に必要な手続きについて施設と研修生で調整することも可能です。
- ・研修生が研修施設を選ぶ際の参考になりますので、施設の特徴などを是非ご記載ください。

- ・研修施設の特徴を是非記載してください
- ・同一都道府県内の薬局に限って募集する際は、必ずご記載ください。
- ・「薬剤師会加入薬局」に限るなど所属団体等による受入れ制限は記載できません。
- ・学会で規定する以外の書類提出が必要な場合は、ご記載ください



# 申請書の記入方法



日本臨床腫瘍薬学会がん診療病院連携研修病院申請（モデル事業）・様式4

## 認定資格および研修指導薬剤師の臨床経験等の状況

研修指導 薬剤師	氏名	会員番号 *非会員は空欄	勤務期間（常勤）			勤務 年月数		病院での勤務 期間	認定資格名 *認定証コピー提出	認定番号
			自	～	至	年	月	合計（年月）		
<記載例> ○	○○ ○○○	10A-000	2015/4	～	現在	5	10	9年5ヵ月	外来がん治療認定薬剤師 がん薬物療法認定薬剤師	○○○○ △△△△△
				～						

- ・研修指導薬剤師は、**本研修における「研修指導薬剤師」**になる方を示します。  
対象の方に○をしてください
- ・研修指導薬剤師は、各施設何名でも登録可能ですが、**少なくとも1名は本学会の会員**である必要があります。
- ・認定資格は、**施設要件③にあるがん関連の特定の認定資格**を記載ください





# 研修コアカリキュラム

- 目標A: がん医療における薬剤師の役割を理解し、医師、看護師、栄養士などの医療従事者との連携の必要性を理解できる。
- 目標B: 患者に良質かつ安全ながん薬物療法を提供するため、外来化学療法中の個々の患者の状態を的確に把握するとともに、抗がん薬の種類、投与量、投与期間等の設定・変更や支持療法の選定などを医師に提案できる。
- 目標C: 外来がん薬物療法における病院と薬局の連携システムを理解し、自施設での連携の質的向上に貢献できる。

# 研修コアカリキュラム



目標D: 曝露対策の必要な抗がん薬の取扱いなどに関する知識を修得し、自施設の曝露対策に活用することができる。

目標E: 患者や家族などからのがん薬物療法に関する相談に、わかりやすい言葉で説明できる。

目標F: 国内外のがん医療に関する最新の情報収集を行い、活用することができる。



# 研修コアカリキュラム

- (ア)研修病院で実施される診療科カンファレンス、カンサーボードなどに参加し、がん治療における薬剤師の役割を学ぶ。(目標A:見学・知識)
- (イ)栄養相談、がん相談など他職種が行う患者相談の場を見学することが望ましい。(目標A:見学)
- (ウ)研修病院におけるレジメン管理の方法、運用を学ぶ。なお、レジメン審査を行う委員会等へ同席することが望ましい。(目標B:知識)
- (エ)がん患者の治療全体を把握した上で、がん薬物療法に用いられる薬剤の特性に応じて、**継続的に**患者の状態を適切にモニタリングする。(目標B:知識・技能)



# 研修コアカリキュラム

- (オ)腎機能、肝機能、血液学的検査などの指標に基づいて、抗がん薬の種類、投与量、投与期間等の変更を検討する。(目標B:知識・技能)
- (カ)がんまたはがん化学療法による様々な症状に対して、支持療法を検討する。(目標B:知識・技能)
- (キ)がん疼痛緩和に関する薬剤の選択や投与経路などについて検討する。  
(目標B:知識・技能)
- (ク)静脈内投与に伴う静脈炎の治療について説明できる。(目標B:知識)
- (ケ)オンコロジーエマージェンシーの病態を説明できる。(目標B:知識)

# 研修コアカリキュラム



- (コ) がん治療における研修病院と薬局間の連携方法を学び、自ら研修期間中に薬局との連携を実施することが望ましい。(目標C: 知識・技能)
- (サ) 研修病院、地域薬剤師会又は地域薬局との間で行われるがん治療に関する研修会が開催されている場合、参加することが望ましい。(目標C: 見学)
- (シ) 抗がん薬調製や投与時に医療者が実施している**曝露対策等を見学し、配慮事項を説明できる**。(目標D: 見学・知識) \* 抗がん剤調製は必須でない
- (ス) がん治療に関する**服薬指導に同席する**。(目標E: 見学・知識)
- (セ) がん化学療法を行う患者に対して、**服薬指導を実施できる**。(目標E: 技能)



# 研修コアカリキュラム

- (ソ)医療者からの問い合わせに対して、適切な検索方法を使用し、必要な情報を迅速かつ適切に回答できる。(目標F:知識・技能)
- (タ)患者やその家族からの質問に対して、適切な情報源を活用し、回答案を作成し、必要に応じて医師や看護師と共有した上で、わかりやすく回答できる。(目標F:知識・技能)
- (チ)各がん種のガイドラインや文献検索方法、製薬会社の製品情報提供サイトの活用方法を理解する。(目標F:知識)



# 研修コアカリキュラム

## (ア) 講義研修の受講

研修生は、研修開始前までに「別に定める講義」をすべて修了しなければならない。別に定める講義は、実地研修を円滑にすすめるために必要な知識を修得するためのものである。

**\* 研修生は、主要5癌種のJASPO作成のe-learnigを研修開始前までに必須で受講します。**

## (イ) 実地研修

実地研修は、研修病院が、日本臨床腫瘍薬学会がん診療病院連携研修コアカリキュラムに定める研修の到達目標に従い実施する。





# 研修コアカリキュラム

## (ウ) 研修記録

研修生は、研修実施日に所定の書式に研修内容を記録する。研修指導薬剤師は、その記録の内容を確認し、記名押印又は署名する。なお、当該研修記録については、研修終了後に日本臨床腫瘍薬学会へ速やかに提出すること。

**\* 研修生は、毎日、コアカリの中からその日に研修した内容を選択し、研修内容を記録します。病院の指導薬剤師は、内容を確認し、チェックを行います。(薬学部5年生の病院実習に近いイメージです)**

## (エ) 課題研修

研修生は、研修の修了に当たって、病院内の報告会等で担当した介入症例などを発表すること。

# 研修終了までに修得すべき専門的知識



研修者は、この実地研修および別の講義研修の受講等「**実地研修入門セミナー**」の自己研鑽を通じて、乳がん、肺がん、胃がん、大腸がんおよび血液がんについて、以下の内容を修得するものとする。なお、**各項目について、研修病院での講義研修の実施を必須とするものではない。**

実地研修入門セミナー  
＋（各種JASPOセミナー）

コアカリキュラムによる  
実地研修

専門的知識の修得



# 実地研修入門セミナー

研修要綱で記載している5がん種は事前に研修者がe-ラーニングで受講済（受講終了しないと研修開始できない設定）。研修病院での講義研修は不要（研修施設で講義を行っていただけるとは歓迎）

\* 研修病院も指導薬剤師もe-ラーニング閲覧可能

- ①肺がん
- ②乳がん
- ③大腸がん
- ④胃がん
- ⑤血液がん



# 研修記録管理

①研修者は、研修日に所定の研修記録を記載し、研修管理サイトにアップする。研修記録のコアカリキュラム履修は、指導薬剤師と協議の上、選択する。

がん診療病院連携研修 研修記録

氏名	東京 太郎	研修病院	昭和医科大学病院
施設確認者	神奈川 次郎	研修日	2021年1月18日

  

該当する研修項目を選択	ア	1	イ	0	ウ	0	エ	0	オ	0
	カ	0	キ	1	ク	0	ケ	0	コ	0
	サ	0	シ	0	ス	0	セ	0	ソ	0
	タ	0	チ	0						

その日に研修した項目は「1」、研修していない項目は「0」

  

研修内容
午前中は、●●について説明を受けた。・・・・・・・・・・・・・・・・

がん診療病院連携研修総合記録

氏名	東京 太郎	研修病院	昭和医科大学病院
出席日数		欠席日数	

  

研修内容（累積）	
(ア)研修病院で実施される診療科カンファレンス、カンサーボードなどに参加し、がん治療における薬剤師の役割を学ぶ。(目標A:見学・知識)	1
(イ)栄養相談、がん相談など他職種が行う患者相談の場を見学することが望ましい。(目標A:見学)	0
(ウ) 研修病院におけるレジメン管理の方法、運用を学ぶ。なお、レジメン審査を行う委員会等へ同席することが望ましい。(目標B:知識)	0
(エ)がん患者の治療全体を把握した上で、がん薬物療法に用いられる薬剤の特性に応じて、継続的に患者の状態を適切にモニタリングする。(目標B:知識・技能)	0
(オ)腎機能、肝機能、血液学的検査などの指標に基づいて、抗がん薬の種類、投与量、投与期間等の変更を検討する。(目標B:知識・技能)	0
(カ) がんまたはがん化学療法による様々な症状に対して、支持療法を検討する。(目標B:知識・技能)	0
(キ) がん疼痛緩和に関する薬剤の選択や投与経路などについて検討する。(目標B:知識・技能)	1

# 研修病院の確認画面

ホーム JASPO 研修管理システム

2020年12月 Today

研修コックピット

「研修プログラム」「研修がん研究センター受講生」に未対応のレポート1件あります。

インフォメーション

- 研修記録テンプレート
- JASPO研修管理システム 受講者マニュアル

クラス一覧

受講可能なクラスが登録されていません。

ヘルプ Copyright

印刷 印刷済み 全て

氏名・ユーザID	性別	年齢	出身	状況	提出日
高野 大郎 <JASPO-Dragon>		1	18 / 18		待機中 2020/12/04 04:45:37

1件中 1 - 1件表示 1 / 1ページ

ヘルプ Copyright (C) 2020 JASPO. All Rights Reserved.



# 今後の流れ

## 1) 第1期募集

2021年1月22日(金): 研修病院募集開始

2021年2月12日(金): 研修病院募集締切

2021年2月中旬: 研修病院認定及び公開

2021年2月中旬: 研修者募集開始

2021年3月中旬: 研修者募集締切

2021年4月上旬: 研修者決定

2021年5月以降: 随時研修開始

(研修病院が提示または研修者と協議したスケジュールで開始)



# 今後の流れ

## 2) 第2期募集

2021年7月上旬: 研修病院追加募集開始

2021年8月上旬: 研修病院認定及び公開

2021年8月中旬: 研修者募集開始

2021年9月中旬: 研修者募集締切

2021年10月上旬: 研修者決定

**2021年11月以降: 随時研修開始**

(研修病院が提示または研修者と協議したスケジュールで開始)





ここからは、Q&A になります



# 病院と薬局で独自に契約することは可能ですか？



がん診療病院連携研修として認定されるのは、学会で実施する研修のみとなります。

但し、令和3年3月末までに開始され、令和4年度末までに終了した研修については、「**実地研修委員会 研修歴審査小委員会**」で要件を満たすと認められた場合に、同等の研修として認定します。

# 研修病院に認定されると必ず研修者が来ますか？



研修者は公募のため、地域の片寄りが生じる可能性があります。  
研修病院には、お手数ですが毎年、研修者の募集可否と研修方法の回答をお願いします。

# コロナの影響で、直前で研修が受けられない可能性がありますが、大丈夫ですか？



今後の状況次第では、やむを得ない場合があると考えます。

研修受入れが、施設として不可となった場合は、速やかに学会事務局にご連絡ください。なお、研修生には、あらかじめ、研修不可になる場合があることに関する同意を得ます。

①研修者が決定前の場合：学会への連絡のみ

②研修者決定後の場合：学会へ連絡

→ 時期変更による研修の可否

→ 研修者と調整(学会)

# コロナの影響で、研修開始後に中断となった 場合はどうなりますか？



原則、研修可能となった時点で再開をお願いします。

研修終了が実施期間を過ぎる場合は、個別に対応します。

# 研修生の都合で欠席した場合は、どうなりますか？



30日間(30単位)を修了を原則とします。

ただし、**欠席理由がやむを得なく(研修者の自己都合でない)、研修病院がすべてのコアカリキュラムを修了していると判断した場合は、学会で検討の上、研修修了証を発行します。**

なお、追加の研修が必要となった場合の対応は学会で調整します。

\* 欠席理由の正当性は学会が個別に判断します。



# 最後に

がん診療病院連携研修は、がん患者さんが安心して治療を受けられる環境を整備する上で重要な研修と考えています。年間200人程度の薬局薬剤師の皆さんに研修を受けていただきたいと思いますと考えています。その成功には、研修病院の協力が必要不可欠です。研修病院の先生方に多くの負担をおかけしますが、是非ともご協力のほど、どうぞよろしく申し上げます。







以上です。

より良いがん医療推進のために  
是非お力添えをお願いします。

